

# 求職者に響くキーワードとは？

## 求人ビッグデータから読み取る、採用訴求ポイント

人材を確保していくためには、求人募集に対する応募者数を増やしていく必要があります。何を訴求していけば求職者に響くのか？今回はそのヒントをインターネット上の検索キーワードから見ていきます。



### 求人募集に不可欠になった“オンラインメディア”

スマートフォン(以下、スマホ)が普及したことにより、求職活動は着実にインターネット検索に移行しています。下記の表は、求職活動において利用した媒体を年齢層別に表したデータです。年齢が若いほど「WEB求人媒体」や「ホームページ」などインターネットを通じて情報を収集しており、30歳未満の求職者

では約60%に上ります。スマホの普及により、若年層は紙媒体よりもネットで就職先を検索しているのです。このような状況を踏まえた上で掲載媒体を決めることが、効果的な人材募集につながるでしょう。

求職活動で利用した手段・ルートの割合 (年齢別、複数回答/単位%)

	求人媒体 (WEB)	ホームページ	ハローワーク	求人媒体 (紙)	紹介会社	紹介 (知人から)	紹介 (社員から)	会社説明会	その他 公的機関	紹介 予定派遣	その他	全合計※
20~24歳	65.1	46.5	25.4	15.6	13.3	10.0	8.2	46.8	4.9	3.0	13.8	252.6
25~29歳	59.9	25.1	40.9	21.9	24.4	13.4	13.1	21.3	6.2	3.8	8.3	238.3
30~34歳	38.0	21.6	39.7	18.5	21.3	18.7	22.7	4.9	4.2	3.5	8.0	201.1
35~39歳	36.7	13.9	38.3	23.4	21.2	24.3	16.4	7.5	4.7	5.1	9.2	200.7
40~44歳	23.0	7.5	36.9	22.9	14.8	17.8	18.2	5.1	1.9	1.9	10.5	160.5
45~49歳	13.6	2.8	47.5	29.9	11.2	24.3	21.0	1.5	2.0	1.0	12.7	167.5

出典：厚生労働省「民間人材ビジネス実態把握調査」より船井総研ロジ(株)作成

(複数回答/単位%)

※複数回答可能なアンケートのため合計値が100%を超えています

### 「条件」や「場所」を具体的にアピールして、求職者のアクセス数をアップ

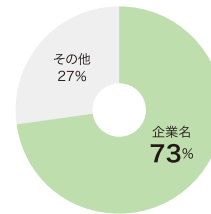
求職者はインターネット上でどのような検索キーワードを打ち込み、仕事を探しているのでしょうか？Googleのデータによると、新卒採用と中途採用ではまったく違った結果が出ています。下記グラフは2017年の就活や転職に関するGoogle検索キーワードのトップ1,000の内容を分類したものです。

新卒者は73%の人が「企業名」で検索しています。それに比べ転職者は、「企業名」で検索している人は15.5%しかいません。転職者が最も多く検索しているのは「業種・職種名」の約30%でした。また「条件面」や「勤務場所」の検索も多く、それらで検索

している人は職種や仕事内容を決めず、「条件」「場所」に合致する候補を探して、そこから会社を絞っているのです。

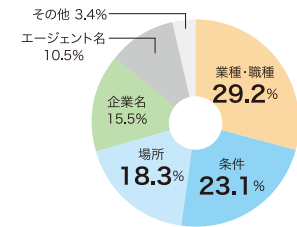
よって中途採用で重要なことは、「職種名」や「給与」だけを意識するのではなく、少しでもアピールできる「条件」や「待遇」、「福利厚生」などがあれば、検索に引っ掛かるように積極的に打ち出すことです。また「場所」でいうと、住所だけでなく「〇〇駅から徒歩〇分」や「〇〇インターチェンジから車ですぐ」など、住所以外で目印となる表現を入れるのも効果的でしょう。

「新卒採用」就活系検索キーワード



新卒者は「企業名」で検索

「中途採用」転職系検索キーワード



転職者は「条件」や「場所」で検索

#### 中途採用のポイント

- ・「条件」や「待遇」、「福利厚生」を具体的にアピールする
- ・会社の住所以外で目印となる表現を明記する

出典：Google提供資料より船井総研ロジ(株)作成

### 当たり前の取り組みでも求職者は見えています

右の表のようにドライバー求人専門サイトの実績によると、希望する福利厚生としては「寮や社宅」を求めている人が多いことがわかります。この結果から、ある運送会社では今までは住宅手当を設定していましたが、それに置き換えて「借上げ社宅制度あり」と打ち出すようにして、応募者数を増加させています。

また「社会保険」や「交通費支給」など、やっつけて当然の内容であるけれど、意外と重要視されていることがわかります。このように、自社では当たり前と思っていることでも、求職者にとっては響く取り組みかもしれません。さらに「有給休暇」は最近の時流で、今後ますます検索する人が増加すると予想されます。とにかくアピールできそうなことは、漏れなく訴求することが大切です。

ドライバーが希望する福利厚生・待遇 (上位10位)

1	寮・社宅あり
2	賞与
3	社会保険
4	昇給
5	退職金
6	交通費支給
7	未経験者歓迎
8	有給休暇
9	資格取得制度
10	免許取得費用補助

出典：ドラEVER社提供資料より船井総研ロジ(株)作成

## 求職者の重視するポイントを理解し、自社の取り組みをアピール。

河内谷庸高 (かわちや のぶたか)

船井総研ロジ株式会社 物流ビジネスコンサルティング部所属、部長、エグゼクティブ経営コンサルタント、運送会社・物流会社向けにマーケティング戦略の立案から販促・営業企画、新規事業参入等、業績アップコンサルティングに従事。近年はドライバー採用・定着・育成をメインテーマに活動。ホームページを核とした求人方法で、エリアや企業規模に関わらず、今の時代でもドライバー採用に困っていない運送会社を各地で輩出している。物流企業経営研究会「ロジスティクス経営研究会」を主宰。